

10th ANNIVERSARY

COMMEMORATION CEREMONY

設立10周年 記念式典

International Joint Research Institute of
Shimane University, JAPAN & Ningxia University, CHINA

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

【日時】—平成26年11月1日(土)

9時30分～12時00分

【場所】—島根大学総合理工学部3号館

2階 多目的室



SHIMANE
University

島根大学・寧夏大学国際共同研究所



記念式典次第

- 一 開式の辞
- 一 挨拶 島根大学 学長 小林 祥泰
- 一 挨拶 寧夏大学 副校長 馬 応虎 様
- 一 来賓祝辞 島根県知事、島根県議会議長、松江市長
- 一 来賓紹介
- 一 共同研究所10年のあゆみ
島根大学・寧夏大学国際共同研究所 所長 伊藤 勝久
- 一 記念講演 「東アジア・アイデンティティーの形成について」
慶應義塾大学経済学部 教授 大西 広 様
- 一 挨拶 島根大学・寧夏大学国際共同研究所 顧問 保母 武彦
- 一 閉式の辞

記念レセプション次第

- 日 時：平成26年11月1日（土） 18時30分～20時30分
- 会 場：レインボープラザ 松江市学園1丁目8-8 (Tel 0852-27-6900)
- 会 費：5,000円（当日レセプション会場受付にてお支払いください）

次 第

- 一 開式の辞
- 一 挨拶 島根大学 学長 小林 祥泰
- 一 挨拶 寧夏大学 副校長 馬 応虎 様
- 一 来賓挨拶 島根県 副知事 小林 淳一 様
特定非営利活動法人日本寧夏友好交流協会 会長 難波 明 様
- 一 来賓紹介
- 一 乾 杯 島根大学名誉教授 北川 泉
- 一 挨拶 島根大学 理事 竹内 潤
- 一 閉式の辞

10年の 歩み

島根大学・寧夏大学国際共同研究所
日本側所長 伊藤 勝久

島根大学と寧夏大学の研究交流の発端は1987年に遡り、本年、島根大学が寧夏回族自治区内の各研究機関と研究交流を開始してから27年目を迎えた。島根大学農学部（現生物資源科学部）の教員が、1987年に外国人として初めて中国寧夏回族自治区で学術調査を実施し、以来、本学と寧夏との研究交流は絶えず発展的展開を遂げてきた。この継続的な学術交流が基となり、島根大学と寧夏大学は1997年に交流協定を締結した。また両大学間の学術交流を契機として関係自治体間の交流が発展し、1993年に島根県と寧夏回族自治区が、2004年に松江市と銀川市がそれぞれ友好提携を行った。

2004年、国際協力銀行（JBIC、現JICA）が寧夏において人材育成事業を実施するに当たり、中国政府に対する円借款事業の一環として、2004年3月11日に島根大学・寧夏大学国際共同研究所（以下「共同研究所」）を寧夏大学内に設立した。2005年9月には研究棟が完成し、9月29日に現地（寧夏大学、銀川市）にて落成記念式典を開催し、2005年12月10～11日に島根大学において共同研究所の落成記念式典及び国際シンポジウムを開催した。本共同研究所は、中国内陸部に独自の建物を有する唯一の日中大学共同研究拠点であることがその特徴として挙げられる。

共同研究所の事業目的は、ここを拠点として共同研究・研究交流を充実・拡大し、共同研究を通じて参加する若手研究者の人材育成を行うものである。共同研究の基盤テーマとして、中国西部の低開発農村地域の環境改善と持続可能な発展、社会文化の維持増強への方策提言、農村医学の発展、退耕還森草・封山禁牧政策下での生態修復と農業生産の維持、環境教育の実践プログラムの定着等を目標としている。人材育成については、共同研究所設立以来、延べ30名余りの寧夏大学の若手中堅教員が、半年から1年間研修のため島根大学を訪れており、研究交流の維持・拡大の基礎となっている。また、人材育成事業と関連し、地方政府関係者の研修が島根県等を受け入れ先とし、主に水資源利用・水質浄化の分野で行われている。

共同研究所設立以来、2009年7月15日に「島根大学・寧夏大学国際共同研究所第2次基本合意書」を、2013年3月25日に「島根大学・寧夏大学国際共同研究所第3次基本合意書」を締結した。これにより、共同研究所の今後の業務を更に発展させ、両大学間の学術交流及び国際協力の拡充に努めることとなった。現在、社会科学、農学、農村医学、環境教育学の4側面から寧夏で学際的共同研究を行い、共同研究の中で若手研究者の育成に取り組んでいる。さらに、研究対象地を寧夏から中国西部へ拡張し、中国西部地域を研究対象とする日中研究者の学術ネットワークの形成を目指している。すなわち、1987年に大学間交流から緒についた

我々の日中共同研究は、中国西部地域の学術ネットワークへと展開しつつある。今後は、中国西部地域の各大学の研究者との広域で緊密な連携を基に、中国西部地域においてのみならず世界的に重要な課題である環境改善、環境教育を中心とする実践的研究と地元地域への定着を目指して展開したいと考えている。関係各位のますますのご理解とご協力をよろしく願いたい。

島根大学・寧夏大学 研究交流年譜

1987-2014

- 1987年 寧夏現地調査を共同で実施
(島根大学側：北川、井口)
- 1989～1990年度 文科省科研(代表 北川)により農村部の開発方法についての共同研究を実施
- 1990年 環日本海シンポ(島根大学主催)でその成果を報告
- 1995年 「中国・黄土高原地域開発研究論文集」
(地域開発政策日中国際共同研究グループ)を刊行
- 1997～1998年度 文科省科研(代表 北川)により日中韓3国の過疎問題の比較研究を実施
- 1997年 寧夏大学と交流協定を締結
(以後更新し、現在に至る)
- 1999年 国際シンポジウム(島根大学開催)で中山間地域問題の国際比較と中山間地域対策について検討
- 2000～2002年度 自治区のプロジェクト研究「退耕還林と生態建設による農村発展」(代表：寧夏大学 陳育寧学長)を実施
- 2003～2005年度 文科省科研(代表 保母)により地域間格差是正と環境改善の最適地域経営の共同研究を実施
- 2004年 国際協力銀行JBIC(現JICA)の円借款により島根大学・寧夏大学国際共同研究所を設立
- 2005年 島根大学・寧夏大学国際共同研究所の落成記念国際シンポジウム(松江市で開催)「東アジアにおける社会発展と環境のあり方」について検討



研究所落成記念式典



日中国際学術セミナー

2006年～

両大学で毎年定期的（隔年担当）に日中国際学術セミナーを松江市と銀川市で実施（現在に至る）



銀川市荣誉市民の称号授与式（保母顧問）

2008～2010年

日本科学技術振興機構「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」(代表 伊藤) により環境改善と持続可能な発展に関する共同研究と人材育成を実施

2008年

「中国農村の貧困克服と環境再生」(保母・陳編著) を日中両国で共同出版



荒漠化対策と持続可能な社会経済構造構築の研究（保母顧問）

2008年10月2日

島根大学・寧夏大学国際共同研究所 保母武彦 顧問が寧夏回族自治区銀川市より「銀川市荣誉市民」の称号を授与される

2009～2011年

文科省科研（代表 保母）により荒漠化防止の研究を中国西部地域で開始



六盤山友誼賞受賞式（田中研究員）

2012～2014年

文科省科研（代表 伊藤）により環境対策と環境教育分野の共同研究を開始（現在に至る）

2013年1月11日

島根大学・寧夏大学国際共同研究所 田中奈緒美研究員が「六盤山友誼賞※」を受賞

※「六盤山友誼賞」とは、自治区人民政府が寧夏回族自治区に対して様々な分野で顕著な貢献を行った外国人を対象に表彰するものです。



寧夏での現地調査

2013年10月21日

共同研究所内に島根大学・寧夏大学国際共同研究所図書館を開館

2014年

平成26年度島根大学戦略的機能強化推進経費「中国西部学術ネットワーク拡大による島根大学プレゼンスの増強 ―環境教育実践システムの移転とグローバル人材育成―」(代表 伊藤) を開始（現在に至る）



研究所図書館開所式

2014年11月1～3日

第12回日中国際学術セミナー開催（島根大）

東アジア・アイデンティティーの 形成について

慶應義塾大学経済学部教授

大西 広

小生の中国研究は少数民族問題に関するものを中心としていたため、この間、「民族アイデンティティーとは何か」についての思索を深めてきた。その中から到達した結論は、

- ①「地域アイデンティティー」には「民族アイデンティティー」と矛盾するものとしにくいものがあること
- ②「民族同化」を許容するかしないかは利益の問題であること
- ③「民族アイデンティティー」の形成には長期にわたる主導権の争いが常に存在したこと

の3点である。この認識の上に、「東アジア・アイデンティティー」形成に今後求められることについて考えたい。

大西広教授 略歴

1980年 京都大学経済学部卒業

1982年 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了

1985年 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位
取得退学

その後、立命館大学経済学部助教授、京都大学経済学研究科助教授・教授等を経て現在、慶應義塾大学経済学部教授、京都大学名誉教授、経済学博士（京都大学）

主な著書

大西 広

『資本主義以前の「社会主義」と資本主義後の社会主義』
大月書店、1992年

大西 広

『環太平洋諸国の興亡と相互依存』
京都大学学術出版会、1998年

大西 広 編

『中国の少数民族問題と経済格差』
京都大学学術出版会、2012年

大西 広

『マルクス経済学』
慶應義塾大学出版会、2012年

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

設立10周年
記念式典

International Joint Research Institute of
Shimane University, JAPAN & Ningxia University, CHINA